

法学部

【アドミッション・ポリシー】

法学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、理解力、論理性、説得力、構想力を養い得る人材を受け入れることを目指しています。このような人材は、具体的には次のような人であると考えます。

- 1) ものごとを深く、多面的・複眼的に理解しようとする人
- 2) 論理的に考え、活発に議論しようとする人
- 3) 日本と世界の将来について、夢を語ることのできる人
- 4) 他者の痛みへの感受性と想像力を持ち、問題を見つけ、その解決策を探ろうとする人

法学部は、このような人材を選抜するために、適切かつ多様な選抜方法を採用します。法学部で学ぶために必要な外国語能力、論理的思考力、知的素養を備えているかを判定するため、前期日程入試では、大学入試センター試験の成績とともに、個別学力検査の国語、数学、外国語の成績をあわせて評価します。AO入試では、大学入試センター試験の成績とともに、提出書類と面接試験の成績をあわせて評価します。